

# ロマンは実を結ぶ

## 金沢地方本部 敦賀地区支部

No.333

私たちの敦賀地区支部は（敦賀駅、小浜駅、敦賀運転センター）、敦賀施設管理センター、敦賀施設管理室、小浜施設管理室、敦賀電気管理センター）の敦賀地域鉄道部で構成し、輸送分会、営業分会、施設分会、電気分会、総務分会の5分会で組織しています。

敦賀市は、赤レンガ倉庫や気比神宮といった名所がたくさんあり、ソースカツ丼やふく料理等のグルメも楽しめます。

### 北陸新幹線敦賀開業目前

#### 一致団結で邁進

敦賀といえは、なんとも2024年北陸新幹線敦賀開業が、目の前まで迫ってきており、毎日工事が施工され、巨大なトンネルが完成間近です。

今年度は、連合関係議員との意見交換や若手組合員による若手組合員への勉強会を行いました。

組合の事がよく分からないといった若手組合員が増えているのが課題の一つで、解決の糸口を掴むためにも「石



は、団結力を発揮し、3位という輝かしい成績を収めました。

## ハマハム



2024春闘方針策定に向け協議を行った

中央本部は、1月15日（月）、第2回賃金対策委員会を西阪急ビル地下会議室において開催し、2024春闘の方針策定に向けて協議を行った。

委員会で座長に川端賃金対策委員長を選出し、各地本等から届いた春闘要求項目を確認し、中央本部において正式に決定していきたいと挨拶を行った。

上村中央執行委員長は、「令和6年能登半島地震に被災された方々にお見舞いと、鉄道復旧が復興のシンボルとなることから、出来る協力を実施していく。また、春闘については、実質賃金が前年割れをしており、今春闘で食い止める必要がある。今春闘は重要な一歩を踏み出した。」と挨拶を行った。

議題では、杉野賃金対策部長より連合の春闘方針及びJR連合の春闘方針の議論内容について説明を行った後、JR西労組の方針策定に向けて、基本的な考え方や各地方本部総支部部会から集約された要求項目を確認した。

出席者からは、「エリア手当」「作業責任者手当」などの各種手当の改善や、総合労働協約改訂交渉時に会社から口頭表明のあった通勤手

## 第2回賃金対策委員会

### 2024春闘に向けて意思統一

中央本部は、1月15日（月）、第2回賃金対策委員会を西阪急ビル地下会議室において開催し、2024春闘の方針策定に向けて協議を行った。

委員会で座長に川端賃金対策委員長を選出し、各地本等から届いた春闘要求項目を確認し、中央本部において正式に決定していきたいと挨拶を行った。

上村中央執行委員長は、「令和6年能登半島地震に被災された方々にお見舞いと、鉄道復旧が復興のシンボルとなることから、出来る協力を実施していく。また、春闘については、実質賃金が前年割れをしており、今春闘で食い止める必要がある。今春闘は重要な一歩を踏み出した。」と挨拶を行った。

議題では、杉野賃金対策部長より連合の春闘方針及びJR連合の春闘方針の議論内容について説明を行った後、JR西労組の方針策定に向けて、基本的な考え方や各地方本部総支部部会から集約された要求項目を確認した。

出席者からは、「エリア手当」「作業責任者手当」などの各種手当の改善や、総合労働協約改訂交渉時に会社から口頭表明のあった通勤手

## JR西労組議員団会議「政策勉強会」

中央本部は、12月26日（火）、ホテルグランヴィア大阪において、JR西労組議員団会議「政策勉強会」を開催し、JR連

中央本部は、12月26日（火）、ホテルグランヴィア大阪において、JR西労組議員団会議「政策勉強会」を開催し、JR連

中央本部は、12月26日（火）、ホテルグランヴィア大阪において、JR西労組議員団会議「政策勉強会」を開催し、JR連



政策勉強会で挨拶する上村委員長



政策課題解決に向けて連携を確認

当や資格取得者への対応について、2024春闘においても概布やフォトモザイクの取り組みを行っていくことなどを確認し、委員会は終了することとなる。

JR西労組の2024春闘方針は2月5日開催の「第42回中央委員会」で決定することとなる。

●第42回中央委員会議事詳細は、JR西労組ニュース外「中央委員会特集 職場討議資料」を参照してください。

会傍聴をJR西労組組合員が行うことで、議会全体に緊張感が生まれていると感じており、引き続き、各議員の激励を行うべく続けていきたいとし、JR西日本の利用状況や2024春闘に向けての決意を伝えた。

また、政策課題については、再構築協議会に労働者代表が入ることから、各地方議会での必要性を訴えていただきたいと挨拶を行った。

勉強会は2部制で行い、第1部ではJR連合宮野局長とJR西労組田中政策調査部長から、JR連合とJR西労組の政策課題について説明を行った。

また、第2部では「JR西日本中期経営計画2027」の解説と意見交換を行った。

JR西労組は、政策勉強会などを通じ、JR産業の政策課題について、議員団所属議員と連携を図り、課題解決に向けて取り組んでいく。

## JR西労組議員団所属議員 5名の議員が各地で 現状の課題を訴える！

令和5年12月に行われた各地の議会において、JR西労組議員団会議に所属する5名の議員が、「駅を中心としたまちづくり」「災害雪害について」「地域公共交通確保」「バス事業者支援」「不通区間の運転再開」などについて発言を行い、中央本部や各地方本部は、発言に合わせて傍聴行動のほか、中国JRバス地本は、坪田議員の朝立の支援を行うなど、議員の激励行動を実施した。

近藤和議員（向日市議）は、12月6日（水）に行われた令和5年第4回定例会において一般質問を行い、向日町駅東口ロータリー構想に関連したまちづくりについて質疑を行い、向日市民の想いを代弁した。

坪田晋議員（福岡県議）は、12月11日（月）に行われた令和5年12月定例会本会議において、「ライドシェア」バス、タクシー事業者におけるドラ



広島県議会柿本議員（前列中央）と激励に訪れたJR西労組組合員

イパー不足の対応」「福岡県でも車いす「ベビーカー実証事業」について質疑を行い、服部福岡県知事からは、実証事業について前向きな回答が行われた。

柿本忠則議員（広島県議）は、12月12日（火）に行われた令和5年12月定例会本会議において、「医療現場の人材確保」「バス事業者への支援」とバス運転士不足への対応「芸術線再構築協議会」に向けた県の考え方などについて、働く仲間を代弁した。

山下隆夫議員（下関市議）は、12月13日（水）に開かれた令和5年12月定例会において、「山陰本線の利用促進と早期復旧について」等、市民が安心して暮らす上での課題について質疑を行い、特に豪雨災害により不通区間となっている山陰本線について、JR西日本任せにするのではなく、下関市も早期復旧に向け取り組むように訴えた。

JR西労組は、引き続き組織内議員と連携を図り、地域の課題や公共交通のあり方を幅広く訴え、力強く活動を展開する。